

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和2年度採択）

FS（革新的研究調査）評価（公表用／ハード分野）

番号	FS研究名	研究代表者	評価
2020-6	走行中の電気自動車に連続的に無線給電を行う道路の実用化システムの開発	大成建設 新藤 竹文	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>本研究では、高効率で汎用性に優れた無線給電を行う道路システムを実現するために、電界結合方式無線給電技術における給電効率や電気自動車への給電制御、舗装の強度や耐久性、修復・更新方法などの実用化技術を開発する。</p> <p>&lt;FS評価結果&gt;</p> <p>FS 研究により成果の見通しを一定程度示し、またそれを踏まえた研究計画を提示していることから、新規研究として採択することが妥当と評価する。なお、実施にあたっては、特記事項に留意していただきたい。</p> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定される耐用年数に基づく更新も踏まえ、LCC を考慮したコストが社会実装可能なレベルとなるよう、必要な研究項目を取り入れた研究計画としていただきたい。</li> <li>・車両サイドの技術導入可能性および無線給電技術の条件を明確にしていきたい。</li> <li>・磁界共鳴方式が電極距離の関係で有利となりつつあるとの文献もあるため、電界結合方式のメリットを生かした技術成果となることが期待される。</li> <li>・高速道路、大型車両への対応について研究計画を十分検討いただきたい。</li> </ul>			

※本 FS 評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 42 回新道路技術会議において審議したものである。